

〈北海道で初めて最大震度7を観測〉

# 北海道胆振東部地震

北海道胆振地方中東部を震央として発生。最大震度は、震度階級でもっとも高い震度7で、北海道では初めて観測された。

## 【北海道胆振東部地震の概要】

地震名：北海道胆振東部地震  
発生日時：平成30年9月6日3時7分  
震源地：北海道胆振地方中東部 深さ37km（暫定値）  
地震規模：マグニチュード 6.7（暫定値）  
最大震度：7（厚真町）

### 被害状況

#### 人的・物的被害の状況

人的被害地震による死者は42名、重軽傷者762名となった。死者を多く出した主な原因は土砂災害（がけ崩れや土石流等）によるもので、主に厚真町で山腹から大規模に土砂が崩れたことにより、民家において多数の死者と重軽症者が発生した。土砂災害の発生状況は227件（全て道内）、うち、がけ崩れは133件、土石流等は94件となっている。

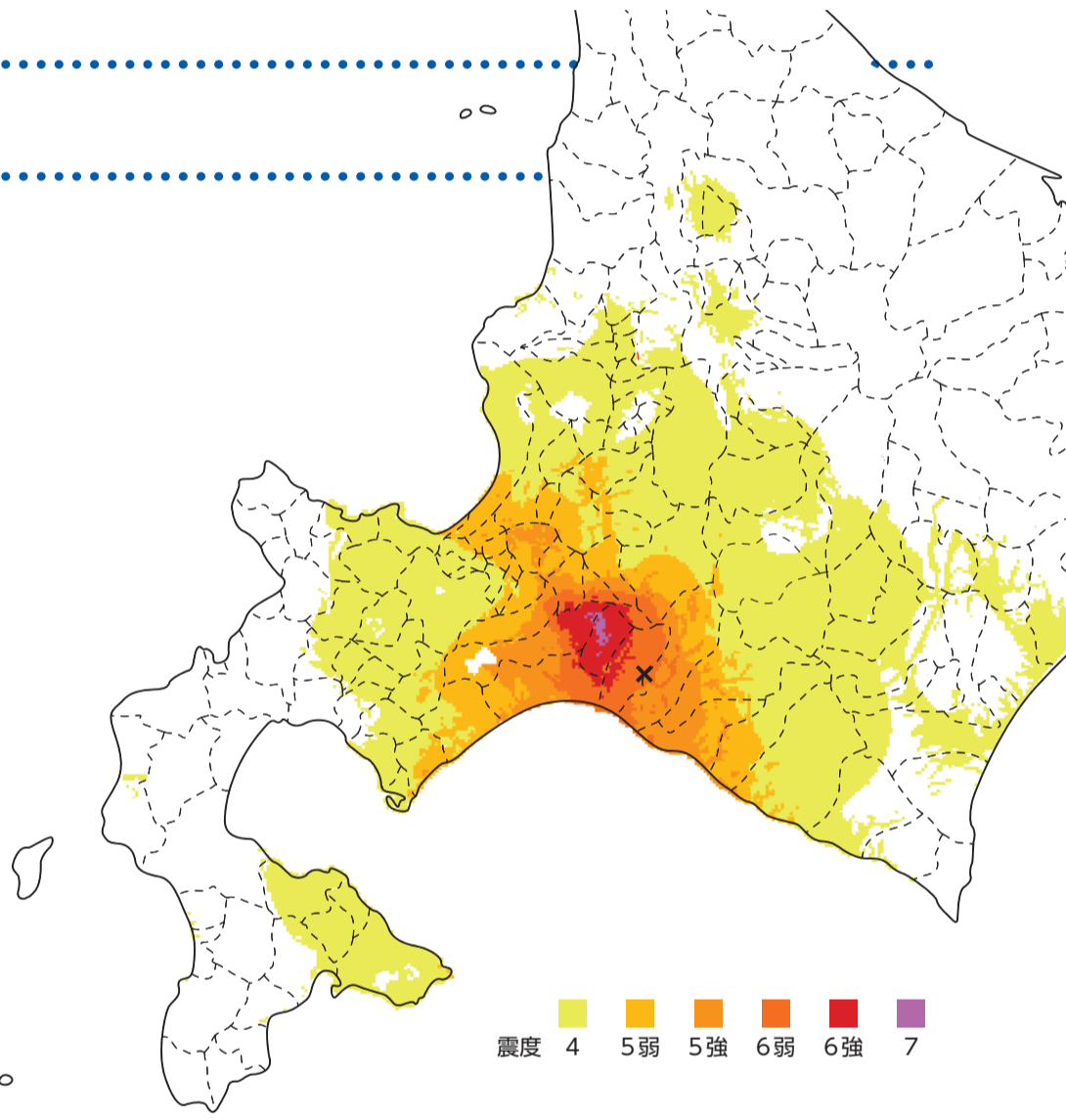
#### ライフラインの被害の状況

札幌市内の各地で多数の水道管の破裂や地盤沈下が発生し、特に札幌市南東部の丘陵地帯に位置する清田区等の住宅街で数十の民家が損壊した。特に同区内の里塚地区は、火山灰質の砂質土により谷を埋め立てた盛土造成地で、台風第21号の影響により地下水位が高かったところ、地震動により地下水位以下の土の層が液状化し、標高の低い箇所から噴出したことにより住宅被害が大きかった。

#### 停電被害

道内全域において最大約295万戸に停電が発生し、日本で初めてとなるエリア全域に及ぶ大規模停電（ブラックアウト）が発生した。この停電被害によって、水道供給の機械全般が使えなくなり断水被害も発生し、消費電力が多い医療機器にも大きな被害があった。また、通信媒体等を充電する事ができず、情報を得られる手段を奪われ、適時適切な情報伝達が困難となった。発電機の欠損部分が少なかったため、停電後2日程度で電力は復旧した。

引用：内閣府ホームページ  
[https://www.bousai.go.jp/kaigirep/houkokusho/hukkousesaku/saigaitaiou/output\\_html\\_1/pdf/201802.pdf](https://www.bousai.go.jp/kaigirep/houkokusho/hukkousesaku/saigaitaiou/output_html_1/pdf/201802.pdf)



平成30年9月6日3時8分  
胆振地方の地震  
※気象庁ホームページから作図  
[https://commons.wikimedia.org/wiki/File:2018\\_Hokkaido\\_Eastern\\_Iburi\\_Earthquake\\_Map1.png](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:2018_Hokkaido_Eastern_Iburi_Earthquake_Map1.png)



土砂崩れ後の様子



液状化の被害

写真出典：首相官邸ホームページ  
[https://www.kantei.go.jp/jp/98\\_abe/actions/201809/09hokkaido.html](https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201809/09hokkaido.html)